

パブリックコメントで寄せられたご意見と市の考え方

案件名	上越市一般廃棄物処理基本計画 (ごみ・生活排水・災害廃棄物)【改定版】(案)	担当課	生活環境課
-----	---	-----	-------

No.1	ご意見の該当箇所: 第3章 ごみ処理基本計画の取組施策 P43
ご意見	プラゴミの削減P43に関連 ⇒ スーパー等の買い物袋をバイオプラ化推進。更には、市指定ゴミ袋とコラボ。市指定の燃やせるゴミ20ℓなど、一部オリジナルデザインなどを許可し、店舗でレジ袋として販売。今後のレジ袋有料化などへの対応に最善では。購入した有料ゴミ袋であれば、廃棄される可能性は極めて低く、適正に処理される可能性が高いかと。
対応状況	反映不可
市の考え方	ご提案いただいた当市の燃やせるゴミ袋の買い物袋への利用については、家庭ごみを排出する際の一度きりの使用を想定した規格で製造しており、再使用することを想定しておりません。 市では、令和2年7月1日から施行されます国のプラスチック製買い物袋の有料化の取り組みとともに、買い物時のマイバッグの使用などを呼びかけ、引き続き3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組を推進します。

No.2	ご意見の該当箇所: 第3章 ごみ処理基本計画の取組施策 P44
ご意見	燃やせないゴミ削減P44に関連 ⇒ 不用品回収業者だが、燃えないゴミの回収日の朝早く、自転車や廃家電・金属製品など、勝手に回収している姿を目にします。ゴミ集積所に出された段階において、所有権は市に移るような話しも聞いた事がありますが、是非はともかく、ある意味、ゴミ排出量の削減になっている側面も。そもそも、燃やせないゴミという分類に、確実に資源化できるものが多過ぎる気がします。燃やせないゴミでなく、早急に、再資源と位置づける方向性が必要かと思います。市内の産廃業者とも協力し、廃家電・金属製品などを資源として回収し、適正に処理する動きを期待します。つどいの郷など、基板類の再資源化などの動きも活発になるかと。
対応状況	反映不可
市の考え方	市が収集した廃家電・金属製品などの燃やせないごみは、民間施設において破碎した後、金属類を抽出し再資源化を行っています。 また、不用品回収業者等が、町内等のごみ集積所からごみを回収することについては、市でも注視し、判明した場合には回収者へ厳重に注意するなど引き続き対応してまいります。